

住みたい、住み続けたい「高島」の実現へ

福井市政

STAGE III

3期目

始動。

特集1

1月31日(日)に執行された高島市長選挙で再選された福井正明市長が、2月15日(月)に3期目の初登庁をされました。高島市政初となる3期目の市長として、感想やこれからの抱負などについて聞きました。

秘書課 ☎(25) 8415



どのような3期目にしていきたいか、抱負をお聞かせください

私にとりまして、これまでの2期8年はいろいろな課題に対応する一方で、政策の実現に向けた取り組みもしてきました。

今回の選挙によって、3期目の付託を受けたわけでありますけれども、さらなる市政の発展に全身全霊で取り組むのはもちろんですが、今から4年後に、あの時にやっぱり福井を支持してよかったと思っていただけのような4年間になりたいと考えています。

数多くの課題がありますが、早急に取り組まなければならないことは

まず、コロナワクチンの接種をどのようにやっていくのかという方針を早急に示さなければならぬということ。ワクチン開発とそれの接種体制については、国の方針がまだ少し今の段階で見極められないなかで体制を整えていかなければならない。いろいろな想定をしながら、スムーズな接種ができるように考えなければならぬというのが喫緊の課題です。

この4年間で特に重点的に取り組む施策を教えてください

これまでの2期8年にわたりまして、国県との連携を図りながら国道161号などの基盤整備を進めてきて、ようやく完成の目途がたってきました。あと3年から4年くらいで大きく改善するという状況でありまして、あるいは会員制のリゾートホテルもようやく再スタートを決定いただき、それもこの任期中に開業いただけるように働きかけていきたいと思っております。極めて重要な3期目の4年間となりますので、しっかりと対応



高島市長選挙
当選証書付与式



3期目初登庁
花束を受け取る市長

させていただきたい。

そして、市政を担っている者は、長い歴史の中では歯車の一つに過ぎないと私は思っています。お預かりしている任期の中で、いかに市政を発展させ、次にバトンタッチをするか、そのつなぎ役がおそらく自治体の首長たるものの役割だろうと思います。そういう意味では、この4年間というのは、高島の将来を方向付ける非常に大切な4年間になるのではなからうかと思っています。

地域の活性化を生かしたまちづくりをどのように進めていけるのでしょうか

市全体の活性化を考えた場合に、近江今津駅というのは、福井嶺南地域や京阪神とつながる交通の要衝に位置付けることができずので、そういう意味で何とかこの地域の活性化を進めていきたいと考えています。

特に、北陸新幹線敦賀駅開業が今の段階では1年ほど延びて2024年と言われていますし、その先の小浜ルートはおそらく相当期間を要するだろうと考えてられます。



JR西日本としてもまだ

ルートを正式に発表はされておられませんけれども、例えば湖西線に閑空特急はるか走らせていただき、かつ近江今津駅で停車をしていただきたいという要望をかねてからしておりますので、そうしたことと併せて近江今津駅周辺の活性化策についても検討をしていきたいと思っております。

新たなごみ処理施設をどのように進めていけるのでしょうか

新たな候補地を再公募させていただきたいということを選挙期間中に市民の皆さんに訴えさせていただきました。

今後については、改めて市議会と協議をさせていただいたうえで、スケジュールも含めて検討させていただきますと思っています。

市民の皆さんにメッセージをお願いします

今回の選挙ではコロナ禍への対応が市民の皆さんにとって非常に心が高かったと思います。おそろくその背景には、長期にわたって自粛生活を余儀なくされ、依然として多くの感染者が確認されているという先の見通せない状況から、一日も早く穏やかな日常を取り戻したいという、切実な気持ちの表れだと思えます。そうした思いをしっかりと受け止めていただき、早期に市民の皆さんにワクチンが行きわたり、再び、笑顔の行きかう日々が迎えられるように、何としてもこの難局を市民の皆さんとともに乗り越えていきたいと思っています。



次世代に「自信」と「誇り」をもって高島市を引き継ぐために。